

# 外傷患者のCT診断を支援する 最先端AIの効果検証を開始

“人とAIのHybrid”で  
今よりも高い救命率を目指して

当センターでは、全身検索型画像診断 AI 『ERATS(イーラツ/ER Automated Triage System)』を臨床に導入し、効果検証を行う臨床研究を2025年9月よりスタートしました。

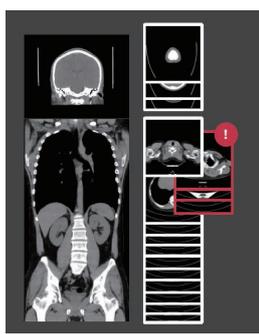
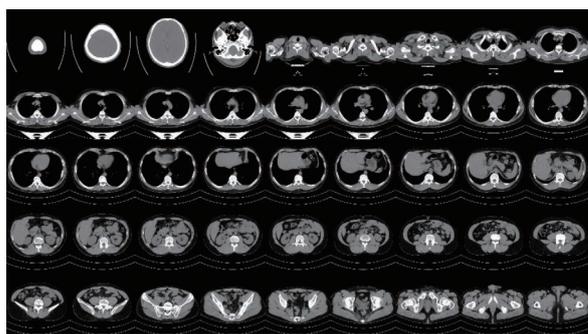
日本では1日平均2万件、およそ5秒に1回の頻度で救急車が出動し、その件数は増加しています。その中でも交通事故などのケガ(外傷)による死亡は若年者の死亡原因の上位を占めています。重篤な外傷患者の約9割が出血死とされ、いかに『早く』『的確な』止血治療を行うことができるかが外傷診療の肝となります。

高度救命救急センターは、2011年8月、外傷患者の救命に必要な全ての『検査』と『治療』を同時に行うことができるハイブリッドERという救急初療室を世界で初めて臨床での運用を開始しました。これにより、CT検査、手術、カテーテルを同じ場所で行うことができるようになり素早い止血治療が可

能になりました。しかし、重症患者の全身状態を知るために撮影されるCT画像は、1人につき数百枚から時には千枚を超え、医師がCT画像を1枚1枚読み解くには平均5分ほどの時間がかかります。

『ERATS』は、1分1秒を争う外傷診療において、膨大なCT画像の中から出血などの異常発生箇所を10秒以内に抽出することができ、医師のCT診断を支援します。岡田医師が率いる研究チームは、6年をかけて26施設の大学病院・救命センターとの共同研究を進めてきました。『ERATS』は、1万症例120万枚の画像データを用い多段階の機械学習によって実現した、全身を網羅的に検索する能力を持つ最先端AIです。

“人とAIのHybrid”により外傷救命への効果を検証し、ハイブリッドERと『ERATS』のコラボレーションにより、今よりもさらに高い救命率を目指してまいります。



『ERATS』は、「EXPO2025年大阪・関西万博」の大阪ヘルスケアパビリオンリボンチャレンジにも、2025年6月24日から30日の7日間、出展されました。

外傷患者のCT診断を支援する最先端AI『ERATS』の効果検証開始に関する記者会見を9月8日に当センターで行いました。

クラウドファンディング  
ご芳名板を  
設置しました

クラウドファンディングでは温かいご寄付を賜り御礼申し上げます。高額のご寄付を頂いた皆様のうち、ご承諾いただいた方々について感謝のしるしとして芳名板を当センター南館1階外来に設置いたしました。機会があればぜひお立ち寄りいただければ幸いです。



患者さんを包括的に支える

# 肥満症治療は チーム医療で

ダイエットを頑張ってもなかなか体重が減らなかったり、いったん減った体重がまた増えてしまうこと（リバウンド）は、決して珍しいことではありません。これは、意志や努力が足りないからではなく、肥満には様々な原因が関わっているためです。食事や運動だけでなく、ストレスや生活環境などの精神的・社会的な要因も大きく影響します。そのため、肥満を改善する治療は、ひとりで頑張るのではなく、医師や管理栄養士、心理士など多くの専門職がチームとなってサポートします。

あてはまる方は  
肥満症治療の  
対象の可能性が  
あります！



ご自身のBMIが

32以上の方

+

糖尿病、高血圧症、脂質異常症、睡眠時無呼吸症候群、非アルコール性肝障害・肝炎などの疾患をお持ちの方

## チーム医療による 肥満症治療の重要性

肥満症治療には多くの治療法やガイドラインが存在し、内容もとても多様になっています。たとえば、中心となる食事療法（栄養指導）のほか、運動療法、精神的・心理的アプローチである認知行動療法、最近注目されている抗肥満薬を使った薬物療法、さらには外科的な減量手術（QRコード参照）などもあります。こうした治療法は、患者さん一人ひとりの肥満の程度や体質、生活スタイル、必要なサポートによって違ってきます。そのため、患者さんそれぞれに合った最適な治療やサポートを届けるためには、各分野の専門家が集まったチーム医療がとても大切です。みなさんが安心して治療に取り組めるよう、私たちが一緒に力を合わせて支えていきます。



## 肥満症治療の 基本方針と 多職種チームの役割

治療は、患者さんの「変わりたい」という意欲を支えることから始まります。当院では、糖尿病内科医師や外科医による診断・方針策定のもと、管理栄養士が食事指導や運動療法を行い、必要に応じて薬物療法も取り入れています。肥満の原因が他の病気や薬なら、その見直しも同時に進めます。高度肥満症など治療効果が十分でないときは、外科的手術も検討します。このように多職種が連携する「チーム医療」が肥満症治療の中心です。さまざまな要因が絡み合っているため、それだけに治療は難しく、時間もかかります。これまで治療がうまくいかなかった方も、諦めずにぜひ一度ご相談ください。

消化器外科副部長 宮崎安弘

管理栄養士や  
医師から聞ける！  
最新治療情報やQ&A

心理士に相談や  
心のケアの講演も

ぶっちゃけ、どーやった？！  
減量・代謝改善手術

座談会



手術を受けた患者さんを中心に、定期的に患者会を開催しています。患者さんのご家族や、手術を考えていない患者さんも参加し、治療の過程や日々の悩みを共有します。

「ひとりでは乗り越えられない壁」も、患者会で仲間とつながることで大きな支えになります。どなたでも気軽にご参加いただけますので、興味のある方はスタッフまでお声かけください。

術後の食事、  
運動の工夫や相談

患者会の開催日時については最後のページへ



## 歯科衛生士 藤原 富江

歯科衛生士の藤原と申します。障がい者歯科で、障がいのために歯科受診が困難な患者さんの歯磨き指導や歯石除去、歯科治療の補助などの業務に当たっています。今回は私の今夏の思い出、地元大阪で開催中の関西万博についてお話したいと思います。実は当初あまり興味がなかったのですが、6月に1度訪れてみて、そのお祭りムードにすっかりハマってしまいました。電車が夢洲駅に到着すると、車内アナウンスもコブクロのテーマソングと共に「いよいよ、夢洲です!」と気分を盛り上げてくれました。帰宅後、迷わず夏パスを



購入して、休日を利用し、気がつけば10回も通ってました。「並ばない万博」ということで、会場への入場もパビリオンもインターネット予約が必要で、デジタル難民の私にはやや難易度が高かったのですが、慣れてきて希望の予約が取れたときには、ゲームを攻略したような達成感と満足感がありました。さて、世界旅行をしているような感覚で楽しい万博ですが、今回のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。各国や企業が健康や福祉、クリーンエネルギーなど、人類共通の課題解決に向けた取り組みや最先端技術を紹介していました。なかでもタイパビリオンは医療・免疫を中心に展開されていて、私が見たな



かで唯一歯科の展示があるパビリオンでした。タイでは美容医療が発展しており、歯科においても審美歯科に注力されているようです。普段私たちは審美面より機能面を優先しがちですが、両方を求められるのが当然です。また、パソナ館では話題のIPS細胞も見ることができました。今後再生医療がさらに進歩すれば、歯の再生の実用化も現実のものとなるでしょう。食べるのが十分に楽しめなくなった患者さんに、もう一度満足してもらえる日がやって来ます。めまぐるしい医療の発展に取り残されないよう、自分自身をアップデートしていかねばと強く感じました。この原稿を書いている今は9月の初めですが、まだ10月半ばまで万博は開催されています。皆さまもぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか?



## チンゲン菜と厚揚げのからし和え

1人前

### 材料

### 具材

チンゲン菜	70g
厚揚げ	60g
しょうゆ	小さじ1/2
酢	小さじ2
からし	0.5g
白ごま	少々
食塩(茹で用)	小さじ1/2

### 作り方

1. チンゲン菜を塩茹でして冷水にさらし、水気を切って食べやすい大きさに切る。
2. 厚揚げは濡らしたキッチンペーパーで包み、耐熱皿にのせてレンジで600w1分加熱して油抜きをする。その後、食べやすい大きさに切る。
3. ボウルにしょうゆ、酢、辛子を入れ、チンゲン菜と厚揚げを加えて和える。
4. 器に盛り付け、白ごまを振りかける。

栄養量 (1人前)	
エネルギー	99 kcal
たんぱく質	7.1g
脂質	7.0g
食物繊維	1.3g
食塩相当量	0.5g



## POINT

秋が旬のチンゲン菜は、ビタミンCやβ-カロテン、カルシウムなど、様々な栄養素が豊富な緑黄色野菜です。今回は、高たんぱくな厚揚げと一緒に辛子で和えた、さっぱりとしたメニューです。あと一品に是非作ってみてください!



要  
予約

のマークがついているものは、事前に申込予約が必要です。マークがないものは予約不要ですので、開催当日会場までお越しください。

# NEWS 院内開催情報 イベント情報



当センターを  
受診していない方も  
ぜひご参加ください！

糖尿病内分泌内科

## 外来糖尿病教室

2025年 下半期スケジュール

参加  
無料

予約  
不要

受診歴  
不要

毎回

# 14:00~14:40

場所：1階1番外来待合テレビ前

10/15(水) 治療薬のこと(インスリン・GLP1製剤)  
災害時の対策

★糖尿病デイ★簡易血糖器を使った測定会も!

11/12(水) 世界糖尿病デイ  
あなたの血管大丈夫?

12/16(火) フットケアについて  
運動療法のはなし

2/18(水) 糖尿病と歯周病  
筋肉を減らさない食事

3/10(火) 治療薬のこと(経口薬)  
インクレチン関連薬



アプリをお持ちでない  
方は、ダウンロードを  
してから、QRコード  
を読み込んでください



視聴はこちら

# ぶっちゃけ、どーやった?! 減量・代謝改善手術 座談会 やっています!



# 12.19 2025 12:00~

金 (約1時間程度)

大阪急性期・総合医療センター 南館1階 保健教室

### 受診予約の 変更について

下記の9診療科を対象に、  
電話で診察時間の予約の変更  
ができます。ただし、紹介予  
約の変更はできません。

呼吸器内科 皮膚科  
消化器内科 糖尿病内分泌内科  
形成外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科  
脳神経内科 腎臓・高血圧内科  
脳神経外科

## 06-6692-1201

月～金曜日 14:00~16:00  
(年末年始・祝日除く)

### 患者さんの 病状説明について

当センターの患者さん  
患者さんのご家族対象

厚生労働省の「働き方改革」  
の趣旨に基づき、緊急でない  
患者さんへの病状説明(イン  
フォームド・コンセント)等  
は、原則、平日の診療時間内  
に行っております。なお、診  
療上、主治医が判断した場合  
は、この限りではありません。  
より良い医療を提供するた  
め、皆様のご理解とご協力  
をお願いいたします。

### 面会時間のご案内

	一般病棟(中央館)	産科・小児科(南館)	ICU・CCU・SCU 救急病棟(中央館1館) NICU・GCU(南館)
時間	面会時間 <b>15:00~19:00</b>		
年齢制限	小学生以下 面会不可	直接お問い合わせ ください	面会を制限して おります
受付	1階 中央館エレベーター前	直接南館へ	直接お問い合わせ ください

### 夜間・休日の施錠について

平日 18:00 から翌朝 7:30 まで、土日祝日は、終日施錠しています。御用の際は、  
北出口・南出口よりインターホンで守衛にお知らせください。

地方独立行政法人 大阪府立病院機構  
大阪急性期・総合医療センター  
〒558-8558 大阪市住吉区万代東 3-1-56  
TEL:06-6692-1201

当センター公式 LINE のお友達登録をお願いします!

荒天による診療状況のお知らせや、診療科主催のイベント、  
キッチンカーメニューなどの情報をお届けします。

